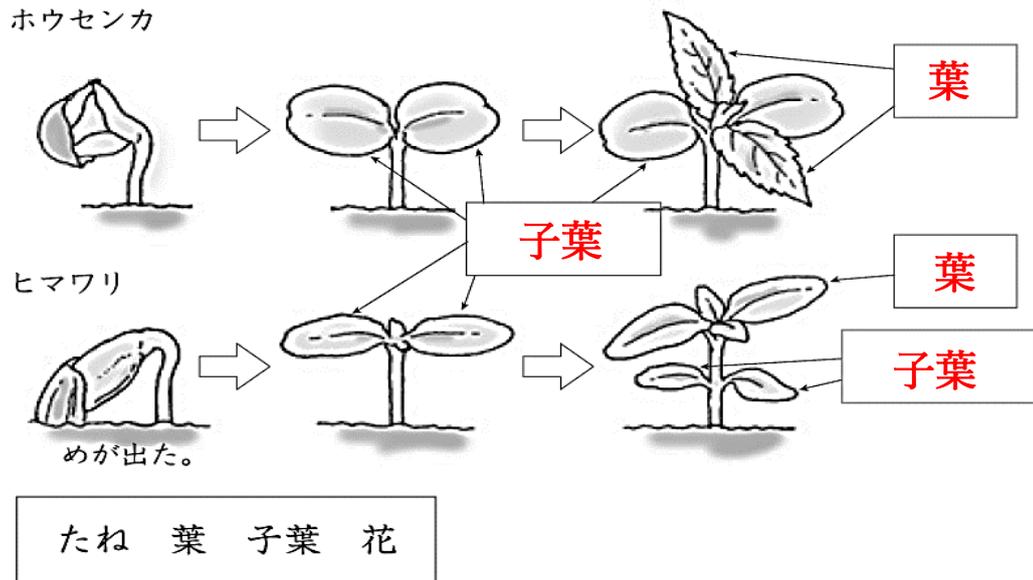


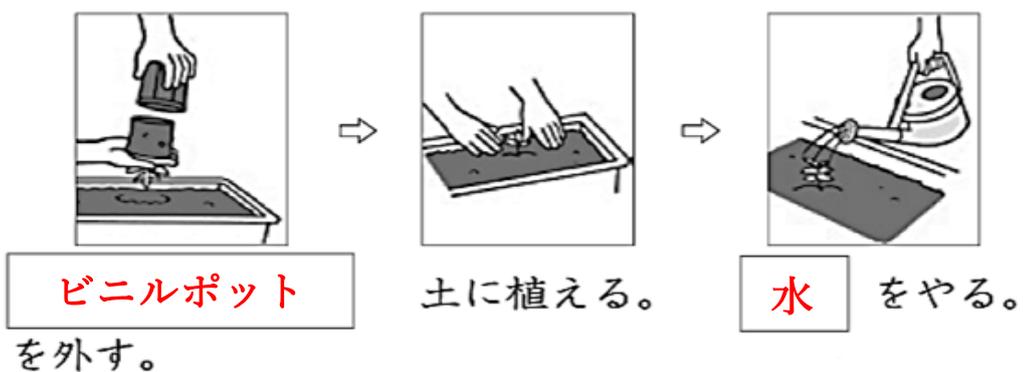
植物の成長

(1) 植物を育てよう(復習)

○下の図は、ホウセンカとヒマワリの芽が出てから育つ様子です。図の□に当てはまる言葉を下の□から選んで書きましょう。同じものを2回使ってもよいです。



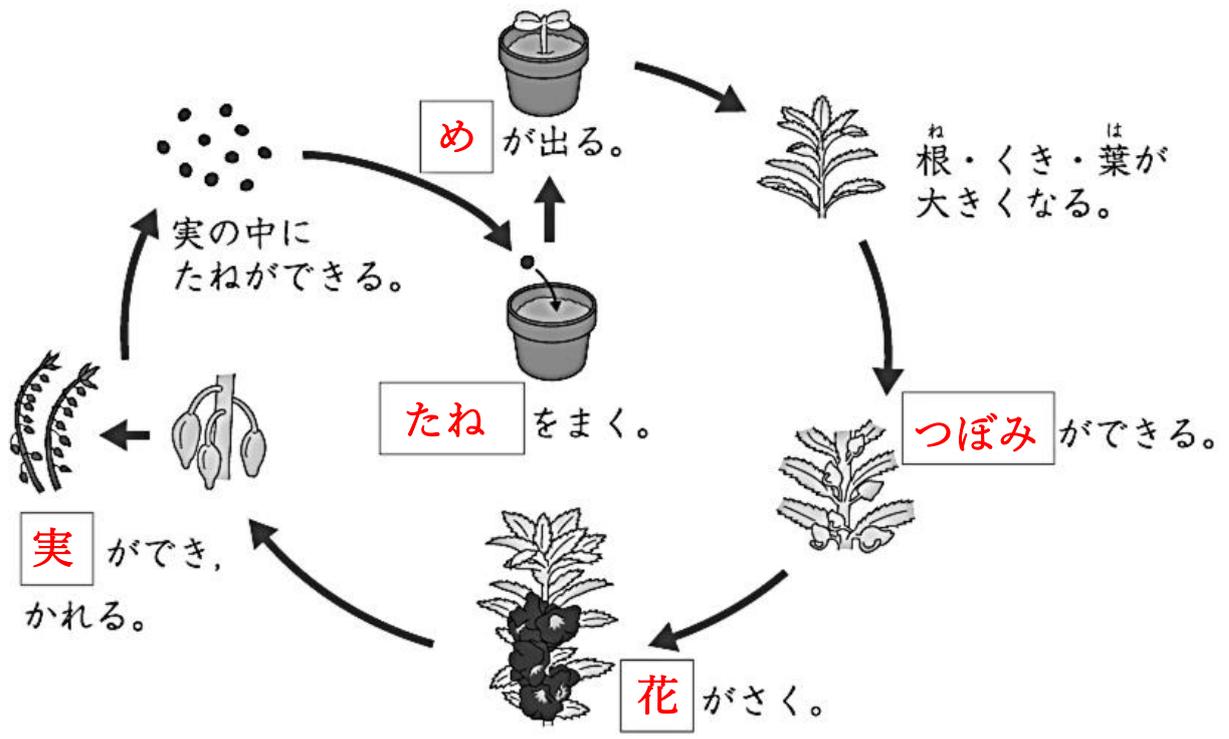
○下の図は、ビニルポットからプランターへ、ホウセンカを植えかえるようすです。□に当てはまる言葉をかこう。



○下のまとめの文章を完成させましょう。

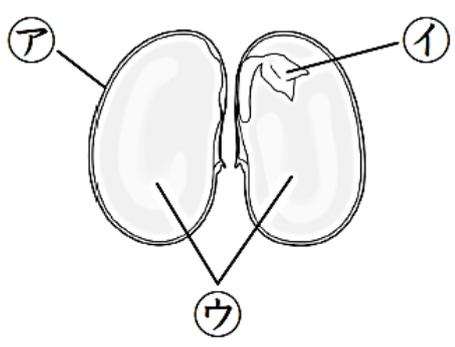
たねから(め)が出て、はじめに出るのは{ 子葉 ・ 花 }で、次に出るのは、{ 同じ ・ 葉 }である。子葉と葉は{ 同じ ・ ちがう }形をしている。

○下の図は、ホウセンカが育つ順序を表しています。□に当てはまる言葉を書きましよう。



(1) 植物の発芽と養分(復習)

○インゲンマメの種子について、次の問いに答えましよう。



- (1) 発芽したあと、根・くき・葉になる部分は、
ア～ウのどの部分ですか。 (イ)
- (2) 養分がふくまれている部分は、ア～ウのどの部分ですか。 (ウ)
- (3) (2)で答えた養分を何といいますか。
(でんぷん)
- (4) ウの部分は何といいますか。 (子葉)

(5) 発芽するための養分は、種子のどこにふくまれていますか。正しいほうの () に○をつけましよう。

- () 種子の表面をおおっている皮 (種皮) にふくまれている。
- (○) 種子の中にふくまれている。

○インゲンマメの種子を切って、でんぷんがあるかどうかを調べました。次の問いに答えましょう。

(1) でんぷんがあるかどうかを調べるときに使う液体を何といいますか。

(ヨウ素液)

(2) 切り口に (1) の液体をつけると、色が変化しました。何色に変わりましたか。

(青むらさき色)



(3) この実験から、どのようなことがわかりますか。() の中の正しいほうの言葉を○でかこみましょう。

種子の切り口の色が変わったことから、でんぷんがふくまれて いる (いる・いない) ことがわかる。

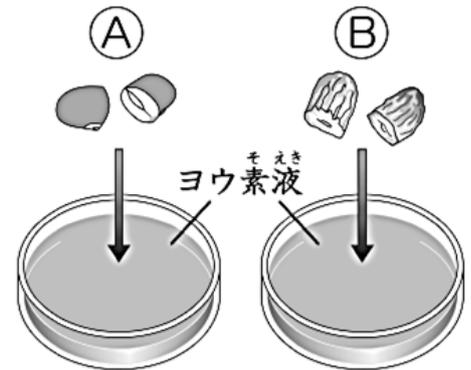
○インゲンマメの発芽前の種子①と、発芽したあと

しぼんだ子葉②の切り口をヨウ素液にひたして、

種子の中の養分について調べました、次の問い

に答えましょう。

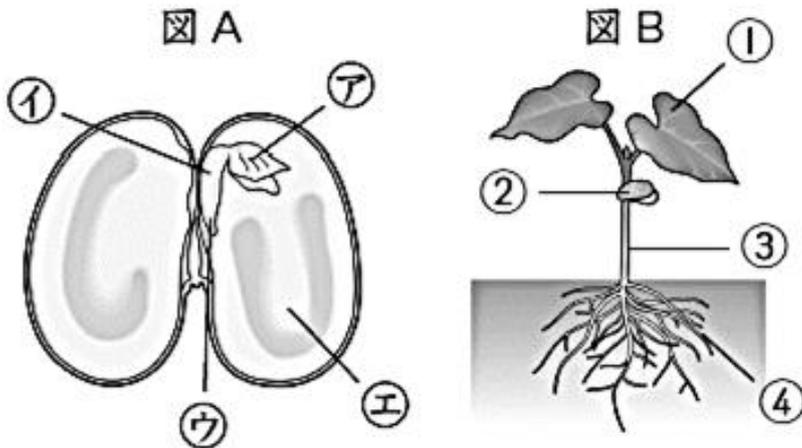
(1) 次の文の () にあてはまる言葉を下の から選んで書きましょう。



でんぷんにヨウ素液をつけると、^①(青むらさき色) になる。つまり、ヨウ素液を使うと^②(でんぷん) があるかどうかを調べることができる。①をヨウ素液にひたすと、色が^③(変わる)。②をヨウ素液にひたすと、色が^④(変わらない)。このことから、種子の中の養分は、^⑤(発芽) するときに使われたことがわかる。

発芽 でんぷん 変わる 変わらない 青むらさき色

○図Aは、発芽する前のインゲンマメの種子のようすを、図Bは、発芽したあとのインゲンマメのようすを表しています。次の問いに答えましょう。



(1) 図Aの①②③の部分、発芽してしばらくすると、3つの部分に成長します。3つの名前を書きましょう。

(葉)
(くき)
(根)

(2) 図Aの④～⑤の部分は、発芽したあと、図Bの①～④のどの部分になりますか。()に番号を書きましょう。

④(①) ⑤(③) ⑥(④) ⑦(②)

(3) 図Aの⑤の部分にヨウ素液をつけると、色が変わりました。何色になりましたか。

(青むらさき色)

(4) 図Bの②の部分を何といいますか。

(子葉)

(5) 図Bの②の部分を切り取り、切り口にヨウ素液をつけると、色はどのようになりますか。

((ほとんど) 変わりません)

(6) 図Bの②の部分に、でんぷんはふくまれていますか。

(ふくまれていません)

(7) 種子にふくまれている養分について、次の()にあてはまる言葉を書き入れましょう。

種子の中にたくわえられている (でんぷん) は、
(発芽) するときの養分として使われる。